

# 地域防災力の向上に関する提言資料

総務財政常任委員会

# 第2次湯沢市総合振興計画（平成29年度～令和8年度）

## 基本構想

### 【まちを育てる基本目標】

第5節 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち

### 【基本目標を実現するための分野】

#### 防災危機対策の推進

市民の命と生活を守るため、自然災害をはじめとした危機に対し、迅速で適切な対応ができるよう防災消防体制を強化するとともに、**自主防災組織による自助・共助に関する取り組みを推進**します。

# 第2次湯沢市総合振興計画（平成29年度～令和8年度）

## 後期基本計画（令和4年度～令和8年度）

### 防災危機対策の推進に係る主な施策と内容

施策名	内 容
(1) 防災危機管理対策の強化	①自然災害など様々な危機に応じて、迅速かつ的確な対応ができるよう、関係する各種マニュアルの整備を図ります。
	②災害発生時の各業務の緊急時における対応について具体的に示す計画を策定するとともに、実効性のある計画となるよう継続的な見直しを行います。
	③防災行政無線を主要な情報伝達手段としながら他の情報媒体との連携を図ることで、迅速で正確な情報伝達体制を強化し、市民の安心の確保に努めます。
	④要援護者情報を共有し、孤立しない見守り体制の構築を推進します。
	⑤河川改修や急傾斜地の崩落対策など、危険除去に取り組みます。
(2) 防災意識の高揚	①市民の防災意識の啓発に努めるとともに、自助と共助の体制づくりを推進します。
	②職員の危機管理意識や全庁的な危機管理能力の向上を図ります。

# 第2次湯沢市総合振興計画（平成29年度～令和8年度）

## 実施計画（令和5年度～令和7年度）

### 防災危機対策の推進に係る主な事業

#### 1 防災危機対策の強化

1	災害時要援護者避難支援ネットワーク構築事業
2	急傾斜地崩壊対策事業
3	河川災害対策事業
4	水防対策総務費
5	水防出動・訓練費
6	水防施設維持管理費
7	防災管理総務費
8	湯沢市雄勝郡総合防災訓練事業
9	防災会議費
10	防災設備・備蓄品費
11	公共土木施設災害復旧費

#### 2 防災意識の高揚

12	防災広報費
13	自主防災組織推進事業
14	倒壊家屋等除却推進事業

# 第2次湯沢市総合振興計画（平成29年度～令和8年度）

## 実施計画（令和5年度～令和7年度）

### 提言に関連する事業概要

	事業名	主な事業内容	R5 事業費	R6 事業費	R7 事業費
8	湯沢市雄勝郡総合防災訓練事業	大規模災害が発生したことを想定して訓練を行い、防災関係機関(消防本部、災害派遣医療チーム等)との災害発生時の応急対策に関する検証・確認と住民の防災意識の高揚を図る。(総合防災訓練開催経費)	694	694	694
10	防災設備・備蓄品費	防災・災害情報伝達機器(防災行政無線、防災情報システム、全国瞬時警報システム、衛星電話等)の維持管理及び災害用備蓄品購入費	16,260	16,260	16,260
12	防災広報費	市民の防災意識の向上と災害時の安全確保を図るため、各種広報活動を行う。	1,179	860	860
13	自主防災組織推進事業	地域防災力の向上と災害による被害の防止及び軽減を図るため、自主防災組織の設置及び防災活動事業への支援を行う。(自主防災組織補助金)	2,671	3,171	3,641



# 自主防災組織の設置と支援制度

## 自主防災組織の設置

(湯沢市自主防災組織推進要綱)

(設置)

- ・一つの町内会等を単位に設置  
(複数でも可)

(届出と認定)

- ・ 規約、名簿、活動計画等を提出
- ・ 市が認定

(育成指導)

- ・市は研修会、訓練等の実施と防災情報の提供により育成指導

(助成)

- ・組織活動に対して補助金を交付

## 補助金の交付

(湯沢市自主防災組織補助金交付要綱)

- ・ 認定を受けた自主防災組織が対象

<補助金の種類>

- ・設置分  
20,000円 + 登録世帯数 × 100円
- ・運営費分  
5,000円 + 登録世帯数 × 100円
- ・事業費分  
事業実施経費 × 10/10 (上限15万円)

# 地域コミュニティの活性化

市では、「これからのコミュニティ」の再構築を図り、市民一人ひとりが、地域内で役割と生きがいを持ち、楽しく生きいきと暮らせる地域づくりを目指すことを目的として、令和3年2月に「湯沢市地域行動プログラム」を策定しています。

「湯沢市地域行動プログラム」では、「地域自治組織のあるべき姿を見据えた組織の強化(自治組織のあるべき姿)」の中で、地域自治組織に期待される主な役割の一つに「防災」を挙げ、地域自治組織による事業活動として、災害時の対応の重要性が高まっており、また、その取組が地域コミュニティの活性化に繋がることを記しています。

こうした地域住民の活動に対して、市では、人的支援、財政支援、活動拠点整備を中心に支援体制を整えており、その中で、町内会などが実施する様々な地域づくり活動に対して「地域づくり交付金」を交付しています。

交付金は、特に推進すべき「重点事業(4項目)」、実施回数に応じた「通常事業項目(8項目)」について交付金を加算する仕組みとなっています。

なお、「防災」に関する活動については、加算対象とされていません。

# 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備(1)

## (1) 日常の身近なつながりを活かした防災活動の奨励

地域防災力を高めるためには、市内全地域に**自主防災組織**が設置されることがベストであるが、**組織率は約4割**に留まっています。

一方で、市中心部の一部を除く市内全域においては、地縁による共同組織として**町内会**や**集落等**が運営されており、共有財産の管理や生活に密着した**互助・共助の活動**が行われています。

**地域防災力の向上**を目指す取組においては、日頃からの地域の人々の関わり、協力関係など「**地域コミュニティの活性化**」が**不可欠**であることから、自主防災組織が設置されない**町内会**や**集落等**においては、その活動の中に「**防災**」を**組み入れていく**ことが重要です。

したがって、自主防災組織の設置を進める一方で、地域の実情等により設置に至らない**町内会**や**集落等**が、その組織体制、連絡体制などを活かして行う「**防災**」に関する取組についても、**奨励・支援**をすることが必要です。

地域防災力の向上

=

地域コミュニティの活性化

## 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備(2)

地域防災力の向上に当たっては、現在、市が設置を勧めている自主防災組織や町内会、集落、自治組織等の住民組織のみならず、多種多様なステークホルダーが関わり連携しあうことが望ましいことから、**防災活動に対する支援の対象**を公共的活動を担っている**各種団体、グループ**などのほか、**事業所等**へも拡大していく必要があります。

そうすることによって、**生活スタイルの様々な場面**において、防災活動に参加する**機会が増える**とともに、実際に災害が発生する**様々なシーンに対応する訓練**にもつながっていきます。

### ○ 提案に係る支援例

- ① 各種団体等の防災活動へ防災士等をアドバイザーとして派遣する制度の創設
- ② 地域づくり交付金に「防災」に関する加算制度等を設け自主防災組織が設置されていない地域の防災活動についても奨励・支援
- ③ 各種団体、グループ、事業所等の防災活動に対する活動費助成制度の創設

# 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備(3)

## ○ 提案に係る取組事例

### <子ども防災キャンプ>

子ども防災協会

Registration Log in LINE f

トップページ 防災キャンプ 子ども防災テレビ 子ども防災協会 メッセージ おうえんだん Volunteer ブログ

～テーマ別～ **子ども防災キャンプ**

あそびの中で一瞬の間に命を失うかもしれない。災害のすぐ後に生きのびるための「判断力」や「行動力」をトレーニング。《地震》《火》《津波》《豪雨・台風》《雷》の他、宿泊型の「ワールドぼうさい冒険キャンプ」では《いのちと食べもの冒険》《川や沢の探検》《エネルギーの冒険》などが登場します！

～テーマ別～ **子ども防災キャンプ(5)**

《募集開始》九州エリア（福岡・宮崎・鹿児島・大分・熊本）2023  
2023-07-21 12:38:25

テーマ

～テーマ別～ 子ども防災キャンプ

～ワールドぼうさい・ぼうけん～

参照：子ども防災協会  
<http://kodomo-bousai.net>

# 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備(4)

## <防災キャンプ>

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業	
大館市防災キャンプ推進事業	
秋田県(大館市)	
<p><b>【事業のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○学校を避難所とした生活体験を実施。</li><li>○防災教育プログラムの実施。</li><li>○児童、保護者、地域住民等の参加。</li><li>○小学校、PTA、地域委員会、学校後援会、地域住民、まちづくり協議会等で構成する、地域委員会を組織。</li><li>○日本赤十字社、社会福祉協議会、消防機関、町内会、婦人会、地域住民などの協力を得て実施。</li></ul>	
比内中学校防災キャンプ	
<b>1. 企画</b>	
<b>(1) 事業実施の背景</b>	
<p>東日本大震災を受け、非常時には瞬時に適切な対応をとることが求められるため、必要な技術や知識を習得する体験活動の場が必要である。</p> <p>東日本大震災では、多くの被災者が長期間、避難所での共同生活を送る事態となったことを踏まえ、避難所体験、野外炊飯などの非常時の生活を想定した体験を行う機会を設けることが必要である。</p> <p>非常時にどのような行動をとるべきかを体験的に学ぶ機会になるとともに、親子や地域住民などが協働して取り組むことにより、非常時も共に助け合うことのできる地域の絆づくりと防災意識の高揚につながる。</p>	
<b>(2) わらい</b>	
<p>①大災害が発生したときに、自分の身は自分で守る、共に助け合うことを学び、必要な技術や知識を習得する。</p> <p>②市の教育の根幹に据えている「おおだてふるさと・キャリア教育」の一環としても、地域の方々との触れ合いの中で、地域で『生きる』ことを学び、地域の一員としての自覚を持つようにする。</p> <p>③避難所体験を地域全体で取り組むことを通し、地域住民の絆を深め、防災意識の高揚を図る。</p>	

参照：文部科学省「青少年の健全育成>学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/ikusei/taiken/1329028.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken/1329028.htm)

# 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備(5)

## <防災キャンプ>

### 防災キャンプのモデルプラン

- 避難場所に集まる**  
持ち物は自由。必要なものは自分で考えて持参します。
- オリエンテーション**  
自己紹介や防災グッズ自慢などでどんな人があるか交流。
- 炊き出し体験**  
ご飯と一緒に作ります。食器も作ったり、少ない水で上手に調理する方法を体験。
- 学びの時間**  
ゲームや身近な材料で防災グッズ作り、屋を掘ったり、ダンスや音遊びをしたりなどと、楽しい時間もあるといわれています。
- 寝る準備**  
段ボールベッド、簡易更衣室など、実際の避難所で使われるものを組み立てたり使ったり。
- 就寝体験**  
避難所と同じ環境で一泊してみます。不便不自由な中から、学ぶことが多いです。
- 起床・体をほぐす時間**  
みんなで一緒に、笑顔で体操。防ごう災害関連死。生活のリズムを整えます。
- 朝ごはん分配体験**  
支度物資を分け合う体験。
- 体を動かして人命救助**  
サバイバル運動会、バケツリレー、ロープワーク、AED体験など
- 非常食ワークショップ**  
家庭での献立も学べる。非常食で美味しいご飯を作る体験。
- ふりかえり**  
それぞれの感想や、今後取り組むべきこと、改善点などの意見交換

避難訓練を通じて得てみよう。  
おうちで得るまでが防災キャンプ。

### 自分たちの防災キャンプを作ってみよう。

左に掲載したのは、2017年から2019年にかけて、宝塚市内で実施した防災キャンプの内容をもとにしたモデルプランです。開催場所により、メンバーにより、毎年少しずつ内容が異なります。皆さんのまちで計画するときは、モデルプランを参考に、地域の課題、人数規模、会場などの条件によって、内容をアレンジしてみてください。

**情報提示板**

今回のテーマ  
不燃・不燃物・不燃物の状況で  
発生し、協力し合う

注意：熱や火源 → 水が補給!!








#### 防災キャンプQ&A

Q. 毎年している防災訓練とは何が違いますか？  
A. 実際に一泊してみる、これが重要ポイントです。「知識を得る」「見学する」とは違う「体験型」の訓練で、いざという時に慌てず動ける人が地域にたくさん増えると、心強いのです。

Q. 設備の整っていない学校に泊まって、苦情とか問題はないですか？  
A. 第1回から3回の防災キャンプでは、事前に説明会を開き、参加申し込み者に宿泊の環境条件などを説明し、了解の上で参加いただきましたので、参加者からのクレームなどはありませんでした。季節により、室温管理が必要な事情の方には空調が使える部屋を用意しました(実際の避難所運営でも必要なことです)。

Q. 人手がないんですが…  
A. 地域活動では一番切実な問題かも知れませんが、まずは少人数から始めて、次年度はその参加者がスタッフになるなど、徐々に規模を広げていければ、ボランティアスタッフ募集のお手伝いをします。

Q. お金がないんですが…  
A. 過去開催の防災キャンプでは、参加者からもスタッフからも参加費を集めました(食材費という意味合いです)。また、足りない分は、助成金を活用したり、地域の企業などに協賛していただいたりしました。市役所や社会福祉協議会で借りられる備品もありますし、食事の回数を選んだり、食材は参加者持ち寄りにするなど、工夫次第でコストを下げることもできます。

#### 助成金を活用して負担を軽減

地域の安全・安心のための活動を支援する制度があります。開催の費用の確保に活用しましょう。

- ◇ ひょうご安全の日推進事業 助成事業  
問合せ先: 兵庫県阪神北限民局 総務防災課  
TEL: 0797-83-3127
- ◇ 宝塚市さすなづくり推進事業補助金  
問合せ先: 市民交流部 さすなづくり室 市民協働推進課  
TEL: 0797-77-2051
- ◇ co-op共済 地域ささえあい助成  
問合せ先: 日本コープ共済生活協同組合連合会 地域ささえあい助成事務局  
TEL: 03-6836-1320

<参考>防災キャンプ支出内訳



項目	割合
食料費	44%
印刷費	20%
保険料	20%
備品/消耗品	9%
貸付料	7%

参照：兵庫県宝塚市「防災キャンプをやってみよう！」

<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/1013056/1013224/1027363/1031655.html>

## 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備(6)

### (2) 地域づくりと防災活動を一体として支援する体制整備

地域コミュニティと地域防災力は不可分ではありますが、これらの活動支援等を担う市役所の担当は、部を超えて分かれています。

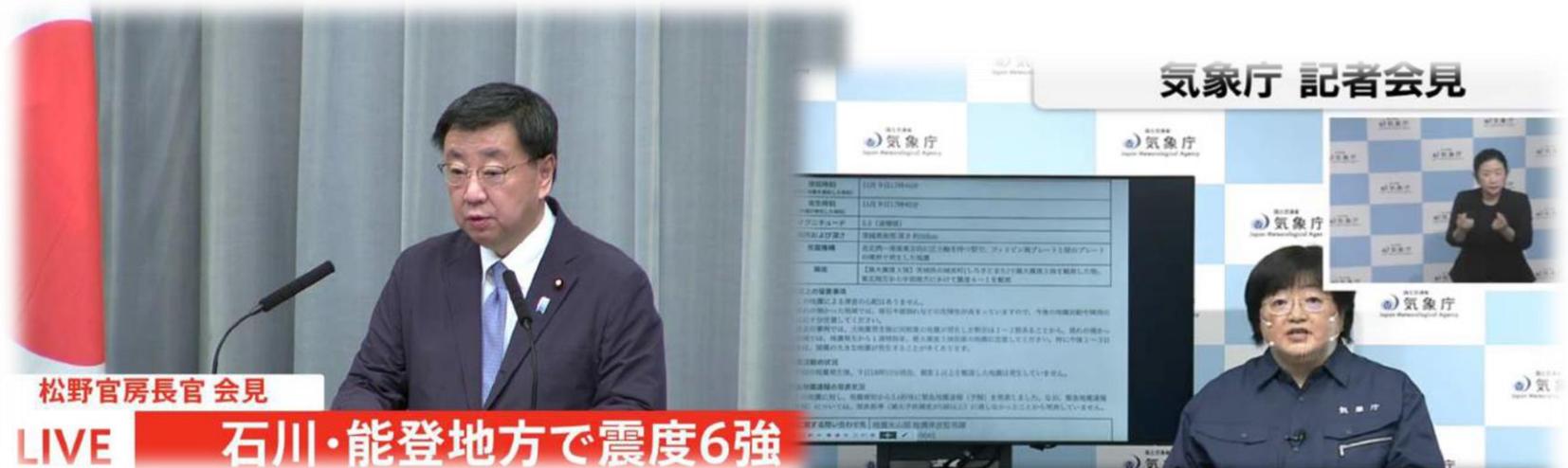
地域防災力を高めるためには、まずは地域自治組織活動(地域コミュニティ)において「防災」をしっかりと位置付け、地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進めることができるよう(地域づくり活動(地域コミュニティ)を担当する部課が地域防災力の向上にコミットしていくよう)、防災担当(総務部総務課総合防災室)と地域コミュニティ担当(ふるさと未来創造部まちづくり協働課)が今まで以上に連携を強化する仕組みを整えていくことを提案します。

# 議会中継システムを活用した災害時の情報提供

議場には、市議会本会議の様様をライブ配信する設備が整っています。

市内において大規模な災害が発生し、災害対策本部が設置された場合、市民に対しては、災害情報のみならず、生活情報・交通情報など、多種多様な情報をリアルタイムで伝える必要があります。

こうした際の情報伝達ツールの一つとして、議会中継システムを活用し、常時、災害対策本部から市民に対して情報提供ができる環境を整えることを提案します。



# 総務財政常任委員会の取組

## 総務財政常任委員会での調査等の経過

年月日	会議名	内 容
令和4年7月1日～ 令和5年3月31日	所管事務調査	第1回調査 ・現状を知る!!「自主防災組織の現状」 第2回調査 ・現状を知る!!「防災行政無線の運用状況」 第3回調査 ・現状を知る!!「防災計画の確認とハザードマップ」 ・自主防災組織(3団体)との意見交換会 ・防災行政無線の伝達状況調査(3地域) 第4回調査 ・現状を知る!!「調査項目のふりかえり」 ・行政視察、市民との意見交換会の実施に向けた検討 第5回調査 ・行政視察の検証 ・当局担当者ヒアリング、市民との意見交換会の実施に向けた検討 第6回調査 ・市民との意見交換会「みんなde防災カフェ」の開催について協議 ・当局担当者との意見交換会の実施に向けた検討 第7回調査 ・当局担当者との意見交換 ・調査結果のとりまとめ  調査報告書 <a href="https://www.city-yuzawa.jp/site/gikai/4359.html">https://www.city-yuzawa.jp/site/gikai/4359.html</a>
令和4年 10月11日～13日	行政視察	・広島県神石高原町 「ドローンを活用した防災対策の取組について」 ・広島県竹原市 「自主防災組織について」
令和4年12月10日	市民との意見交換会	・議員としゃべろうマチトーク「みんなde防災カフェ」の開催 (地域で助け合う共助の体制づくりや情報伝達のあり方など「防災」について意見交換を実施)
令和5年4月27日	議会改革推進研修会 (総務財政常任委員会)	・防災に関する政策提言に向けた課題等の整理

# 総務財政常任委員会の取組

年月日	会議名	内 容
令和5年5月9日	委員協議会	・防災に関する政策提言(案)について協議
令和5年5月24日	市民との意見交換会	・出張!!なんでも意見交換会の開催 (湯沢市女性消防団員の皆さんと「消防団活動で感じたこと(感じること)」をテーマに、消防・防災活動について意見交換を実施)
令和5年6月15日	委員協議会	・防災に関する政策提言(案)について協議
令和5年6月21日	議会改革推進研修会 (総務財政常任委員会)	・防災に関する政策提言事項の検討
令和5年7月19日	委員協議会	・防災に関する政策提言「地域防災力の向上に関する提言(案)・提言資料」について協議
令和5年8月1日	議会改革推進研修会 (総務財政常任委員会)	・「地域防災力の向上に関する提言(案)・提言資料」のブラッシュアップ
令和5年8月30日	総務財政常任委員会	・「地域防災力の向上に関する提言(案)」の決定 ・議会改革推進会議への議題提案書の提出